革新的シミュレーション研究センター

Center for Research on Innovative Simulation Software

http://www.ciss.iis.u-tokyo.ac.jp



ものづくりの抜本改革

Radical Innovation in MO-NO-DU-KU-RI

材料開発から廃棄に至るまでを一気通貫でシミュレーションするための、 ものづくりの方法論を抜本的に変革する最新技術の研究開発

- ◆ 世界をリードする最先端の実用的なシミュレーションソフトウェアの研究開発
- ◆ 先端的シミュレーションソフトウェアの開発・利活用を担う研究者・技術者の育成
- ◆ 我が国産業界の国際的リーダーシップの発揮・競争力の抜本的強化に貢献

副センター長 センター長



教授





















栃木栄大 古川京 准教授 准教授

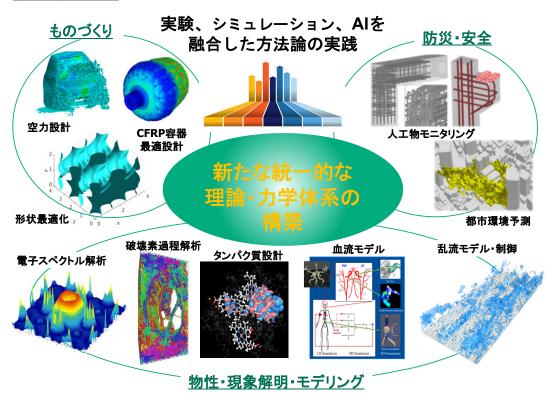


准教授

協力教員

骶要





研究分野

教授:半場藤弘 流体物理学

バイオ・マイクロ 流体工学 教授:大島まり

教授:長谷川洋介

界面輸送工学

教授:大岡龍三

都市エネルギー工学

准教授: 菊本英紀

複雜系環境制御工学

物質•材料機能

教授:吉川暢宏

固体力学

教授:梅野宜崇

ナノ・マイクロ機械

教授:溝口照康

ナノ物質設計工学

教授:井上純哉

インフォマティクス

准教授:栃木栄太

ナノスケール 材料強度学

確率 量子論的計算科学

教授:佐藤文俊

計算生体分子科学

准教授:古川亮

複雑流体物理学

主要事業

● 研究成果の社会還元のためのプラットフォーム開発

ものづくり分野でのデジタルトランスフォーメーションの促進に貢献するため、開発してきた先進力学シミュレーションモデルを汎用ソフトウェア として公開し、実証課題の解決に展開

● 高度力学シミュレーションリカレント教育

工学の広い分野で必要なシミュレーション技術に関する横断的セミナーを実施

● HPC・データ科学的設計手法の普及

文部科学省のプロジェクト「富岳」成果加速プログラムにおいて開発した、大規模汎用LBM解析ソフトウェアの産業応用を加速するための、 大規模解析と解析結果の分析を柱とする実践コースを実施

革新的シミュレーション研究センター

Center for Research on Innovative Simulation Software

http://www.ciss.iis.u-tokyo.ac.jp



大型研究プロジェクト

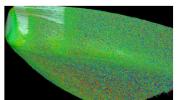
革新センターでは、国のプロジェクトを推進するなど、最先端の実用的なシミュレーションソフトウェアの研究開発とその実用化を 牽引しています。

文部科学省プロジェクト

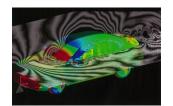
「『富岳』成果創出加速プログラム」 AIの活用によるHPCの産業応用の飛躍的な拡大と 次世代計算基盤の構築(2023~2025)

長谷川洋介 東京大学生産技術研究所 教授

AIの活用によってHPCの産業応用を飛躍的に拡大できることを実証 し、大規模な産学連携コンソーシアム等を組織し、研究成果を幅広い ものづくり分野に展開する。さらに、次世代の計算基盤となる解析ア ルゴリズムを開発する。







▶格子ボルツマン法アプリケーションFFX による自動車の外部音場の予測結果

参加機関・東京大学、神戸大学、豊橋技術科学大学、日本大学、明治大学、 理化学研究所、一般財団法人日本造船技術センター、株式会社本田技術研究所

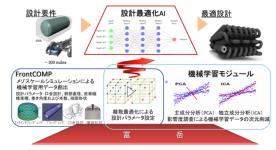
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)プロジェクト

燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発 事業/水素利用等高度化先端技術開発/ 機械学習を用いた高圧水素複合容器の最適設計技術に関する

理論検討及び実証(2021~2024)

吉川暢宏 東京大学生産技術研究所 センター長・教授

カーボンニュートラルを牽引する最重要機器である燃料電池自動車 用炭素繊維強化プラスチック(Carbon Fiber Reinforced Plastic, CFRP)製高圧水素容器の設計高度化を目指し、「富岳」に代表され るスーパーコンピュータを最大限活用し、大規模有限要素解析と機 械学習を融合させた最適設計のためのIT基盤を構築し、高圧水素タ ンクの低コスト化(2050年目標1/5)に貢献する。



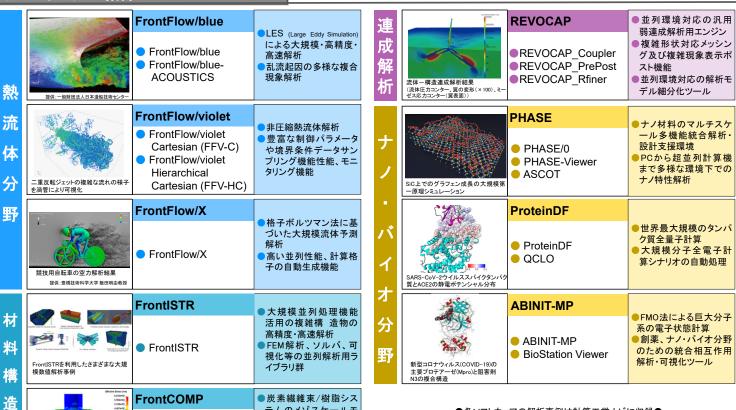
●各ソフトウェアの解析事例は計算工学ナビに収録●

http://www.cenav.org/

ソフトウェアの紹介

分

高圧水素容器のメゾスケール応力解析



テムのメゾスケールモ

樹脂硬化時の過昇温と 残留ひずみ評価 ●荷重負荷による損傷発

展のメゾスケール評価

デル